

(様式集)

2020 年 3 月 9 日

委員会名称変更 提案書

提案者（理事名） 岩田利枝

委 員 会 の 名 称	旧 災害に備えたレジリエントな照明手法研究調査委員会 新 災害に備えたレジリエントな屋外照明研究調査委員会
英 文 表 記	Research Committee on Resilient Outdoor Lighting Techniques for Disasters
事 業 部 門	研究調査委員会
関 連 常 置 委 員 会 名	視覚・色・光環境分科会
設 置 の 趣 旨	地震や水害、火災などが発生した時の 屋外 照明デザインについて考える。災害発生時には停電になることも予想され、照明が消灯し、避難勧告も届かないことがある。災害発生から短時間に、各個人が自主的に避難できるようにしなければならない。災害に強いレジリエントな 屋外 照明とは何かについて、照明技術的な側面、避難行動や人間心理的な側面、そして 屋外 の空間特性に応じた照明計画的な側面から調査研究を行う。
予 測 さ れ る 成 果	国内外の研究成果や適用事例を踏まえた避難誘導のための照明方法、災害に備える照明器具、非常時の照明手法などを提示することを予定している。
成果のフォローアップ (会員への還元)	委員会終了後に報告書を作成し、発行する。また公開研究会を開催し委員会活動により得られた成果を報告する。
委 員 会 の 構 成 (氏名：所属)	委員長 小林茂雄（東京都市大学） 幹 事 山口秀樹（国土技術政策総合研究所）、角舘政英（ぼんぼり光環境計画） 委 員 櫻井将人（静岡理工科大学）、長町志穂（LEM 空間工房）、秋月有紀（富山大学）、外山明代（岩崎電気）、斉尚樹（因幡電機製作所）ほか 全体で 10 名程度
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月
委 員 会 開 回 数 / 年	4 回/年程度
活 動 計 画	1. 研究報告書の作成 2. 学会指針 作成に向けた資料 提供 3. 公開研究会等の開催
経 費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（理由： 支給対象者名、支給予算額 現在 調整中 <input type="checkbox"/> 無
備 考	

理 事 会 の 承 認	承認 年 月 日
-------------	----------